

女たちのアマチュア劇団

それは芸術か、セラピーか、革命か？

舞台はサンフランシスコ。元受刑者と HIV/AIDS 陽性者が、自分たちの人生を芝居にした。暴力にさらされ、「どん底」を生き抜いてきた女たちの現実とファンタジー。舞台上、日常で、トークバックする女たち。彼女たちの演劇は芸術か、治療か、それとも革命か？芝居を通して自分に向き合い、社会に挑戦する8人の女たちに光をあてた、群像ドキュメンタリー。

監督&プロデューサー&編集

坂上 香 (ドキュメンタリー映像作家)

1965年大阪生まれ。高校卒業と同時に渡米・留学。南米放浪を経て、ピッツバーグ大学で社会経済開発学の修士号を取得。帰国後 TV ドキュメンタリーの世界へ。2001年にTV業界を去り、2004年に初の映画「Lifers ライファーズ終身刑を超えて」を制作、各地で上映を行う。2003年から大学の専任教員としてメディア教育に従事するが、2012年に再びフリーの映像作家に。「暴力(被害・加害)の後をいかに生きるか」というテーマで、「希望」や「変容」に着目した取材を続けている。NPO out of frameの代表として、暴力の被害に遭った子どもや女性との協働的表現活動や、刑務所での表現ワークショップなども行っている。本作品は劇場公開の2作目にあたる。



「トークバック 沈黙を破る女たち」公式HPより抜粋

ア
タ
シ
た
ち
を
な
め
ん
じ
や
な
い
!

国際女性デーとは (3月8日)

1975年、国連が定めた記念日です。毎年、3月8日を女性の権利と国際平和をめざす「国際女性デー」として、世界各国で記念行事や催しが開催されています。



トークバックとは？

言い返す、口答えするというネガティブな意味でつかわれることが多い。しかし、本映画では、「声をあげる」ことや、人々と「呼応し合う」というポジティブな意味で使っています。

世界では今も、女性であるという理由だけで、虐待されたり、性的な暴力を受けたり、自分の意思を主張することさえできない女性たちがいるということを忘れてはなりません。

3月8日は私たち女性にとって意義のある大切な日です。



申込書



氏名 _____

年代 _____ 代 性自認 _____

住所 〒 _____

電話 _____ FAX _____

